

ごはんMEMO

- (1) ご飯茶わん1杯の米の量は**約3,000粒**、バケツ田んぼ(2株)で収穫できる米とほぼ同じです
- (2) 1日3食、ご飯茶わん1杯ずつの米を毎日食べたと仮定すると、1年間に必要な株数は、
2株×3食×365日=**2,190株**となります
- (3) 1年間に食べる米を栽培するために必要な田んぼの広さは1㎡あたりの株数を20株として計算すると
2,190株÷20株=109.5㎡、**約100㎡(10m×10m)の面積の田んぼが必要**です

【用語の説明】

- ①**分けつ**…発芽から1ヶ月ほど経ち苗の根元で新しい茎が分かれ始めることを、分けつといいます。他の植物が枝を増やして成長するのと同様の営みです
- ②**中干し**…田んぼの水を抜いて土を乾かし、土中のガス抜きを行い、空気中の酸素を土の中に入れること。こうすることで根の張りが良くなり、お米の収量も上がります
- ③**出穂(しゅっすい)**…田植え後65~80日で穂の形ができあがります。茎につく最上部の節を穂首節といい、穂軸につながっています。穂軸から枝分かれして小穂(籽)をつけます
- ④**稲熟(とうじゅく)**…開花・受精後、米粒が形づくられ充実することです



■栽培暦

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
栽培管理(作業)	播種・育苗			田植			水の管理			中干し・追肥			病害虫防除・防鳥			落水			稲刈・乾燥・調整		
生育段階	播種・育苗			田植			分けつ			出穂			稲熟								

要ファームの

 初夏編
 田植え体験
 2010年5月16日

バケツ田んぼで
 お米を
 つくらうー!



上手に育てて、おいしく食べましょう!

1 田植えをします



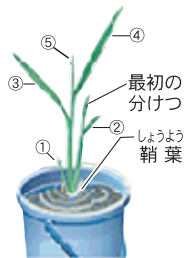
(1)代播き(しろかき) 土を入れたバケツに水をはり、移植ごて等で攪拌し、平に均して水が澄むまで静置します

(2)田植え 1株に2~3本、バケツ1つにつき2株ずつ植えます〔バケツに植える株数や1株あたりの本数を変え、成長の違いや収量を比較すると面白いですよ!〕



(3)給水 植えた苗が根付くまでの7日間くらいは、水を多めに与えましょう

2 植えてから気をつけること



(1)成長の観察・分けつ 分けつの様子や草丈の伸び具合を観察しましょう

1週間に1枚ほど葉が出るのにあわせて、茎の数も増えていきます。通常1本の稲から約10本に分けつします



(2)水の管理 水の深さを2~3cmに保ちます
曇天低温が続く場合は少し多めにします



(3)除草 雑草が発生した場合は、分けつが盛んな時期に除草を行います

(4)中干し 茎の数が最も多くなる時期を中心に3~5日間給水を止め、土を干します。土の表面にひび割れができたなら、水の深さが2~3cmになるまで再び給水してください。土を乾かすことで、土の中のガスを抜くとともに、空気中の酸素を土の中に入れ根を丈夫にする効果があります。天候によって日数が変わるので、中干しの期間中は乾きすぎに注意し、毎日観察しましょう

5 おいしく食べるためにすること



(1)脱穀 新聞紙などを敷き、手作業で穂からモミをこぎ落とします

(2)収量調査 バケツ全体で何粒のモミが収穫できたか数えてみましょう
バケツ1個(2株)でおよそ2000~3000粒のモミが収穫できます

3 夏に気をつけること



チェックポイント
肥料が切れると葉の先端が黄色く変色し、水が不足すると葉が萎縮します

(1)追肥 分けつ期の終わり頃に肥料(【コスモ塾のぼかし肥料】を1~2握み)を与えます。分けつ期の終わり頃、茎の中に穂ができます。立派な穂をつくるためには、肥料や水を十分に与えなければならない大切な時期です

(2)出穂(しゅっすい)・開花期の観察と管理

開花期間中はバケツを風通しの良い場所に移動し、水が干上がらないよう注意します。茎の間から穂が出たら、その翌日から穂先より順に花が咲きます。おしべの花粉が風に運ばれめしべにつきやすくするために、バケツを移動させます

〔晴天の場合、午前10時頃から約3時間開花します〕
お見逃し無く!



出穂

(3)害虫防除 害虫を見つけたらその都度取り除いてください。

(4)防鳥 穂が出ると都会でもスズメがやってくるので、スズメよけを工夫してください

4 収穫をするときは



(1)落水 穂が垂れ下がったら、水を土の表面が浸る程度に減らし、実が固くなったら給水をやめます

(2)刈り取り 根元から2~3cmのところをハサミやカッターナイフで刈り取ります。穂が垂れ下がり全体の8割程度が黄色く色づいた頃、落水後10日前後が収穫の目安です

(3)乾燥 刈り取った株を稲ワラで束ねて、穂を下にして干します。刈り取ったばかりのイネは水分が多いため、乾燥させる必要があります

(4)穂の数を数える 穂数は1株あたり平均20くらいになるはずです

(3)籾(モミ)すり 籾をすり鉢や鍋などに入れ、すりこぎや麵棒、空き瓶などを使ってこすり、籾殻をはずします。うちわであおぎ、風で籾殻を飛ばして玄米を集めます

(4)精米 玄米をビンに入れ、白くなるまで根気よく棒で突き、表面のぬかを取り除きます

